

## 1 設置目的

不登校児童生徒に心の居場所を与え、生活自立や学習意欲の向上、集団への適応を促すために指導や助言、相談を行う。そして、学校や地域とのつながりを大切にしながら、心の安定や生活意欲の向上を図る。

## 2 入級対象の児童生徒

- (1) 磐田市に在住又は磐田市立学校に通学する小・中学校児童生徒
  - (2) 情緒不安などにより不登校またはその傾向にある児童生徒
  - (3) 本人及び保護者が通級・訪問・来室支援を希望し、在籍校の校長が入級を依頼する児童生徒
  - (4) 非行傾向が顕著でない児童生徒
  - (5) 磐田市教育委員会が必要と認めた児童生徒
- ※ 以上、原則として(1)から(4)の条件を満たし、入級許可を受けた児童生徒

## 3 スタッフ

【所長】 学校教育課長

【職員】 運営担当職員 通級指導員 訪問支援員 臨床心理士(隔週の木曜日)

## 4 教育支援センターへの入級までの流れ

(1) 見学	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童生徒・保護者が、学校に教育支援センター見学の希望があることを伝えます。</li> <li>② 学校は教育支援センターに見学希望者がいることを伝えます。</li> <li>③ 教育支援センターと保護者が見学日を調整します。</li> </ol>
(2) 体験	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童生徒は、半日単位で1週間程度、体験をします。</li> <li>② 体験後、児童生徒の入級について、教育支援センター・学校・保護者で児童生徒の入級の意思を確認します。</li> </ol>
(3) 入級	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童生徒の入級が決定した場合、保護者は「磐田市教育支援センター入級願」を学校に提出します。</li> <li>② 入級後、保護者は臨床心理士と受理面談を行います。</li> </ol>

## 5 教育支援センターQ&A

Q 1. 通級の方法について教えてください。

A 1. 公共交通機関や自転車(中学生のみ)、徒歩、保護者による送迎です。自転車で通級する際は、必ずヘルメットを着用してください。

Q 2. 通級するとき、服装はどうしたら良いですか？

A 2. 服装は、制服・私服のどちらでも構いません。動きやすい服装をお願いします。

Q 3. 昼食は必要ですか？

Q 3. 午後まで活動する際には、お弁当を持参してください。

Q 4. 毎日、通級しないといけませんか？途中で帰っても大丈夫ですか？

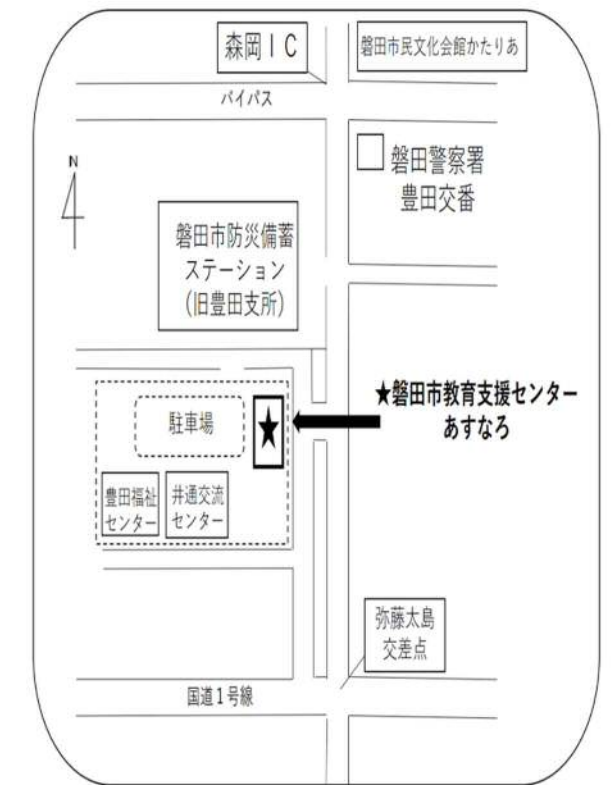
A 4. 毎日通級する子、自分で通級する曜日・時間を決めて通級する子など通級の仕方は様々です。子どもたちが自分の通いやすいリズムを選んで通級しています。無理をせず、毎日の調子に合わせて通級してください。

## 磐田市教育支援センター

### 【教育支援センター(あすなろ)】



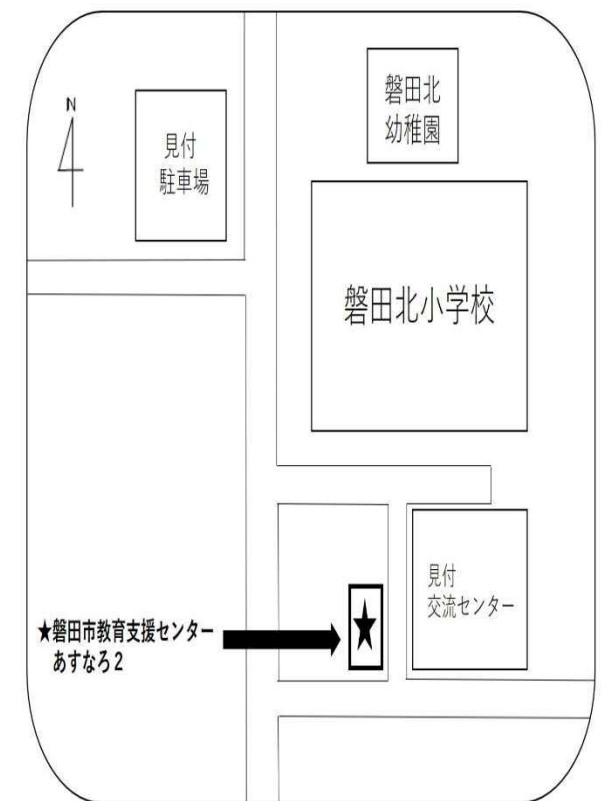
〒438-0833  
 磐田市弥藤太島500番地1  
 ☎0538-33-5198  
 (平日8:30~17:00)



### 【教育支援センター(あすなろ2)】



〒438-0086  
 磐田市見付2386番地7  
 ☎090-6770-7782  
 (平日8:30~17:00)





# 磐田市教育支援センター支援体制（通級・訪問・来室）

**支援の目標**  
 生活自立（個に応じた日課）    学習意欲の向上（学習時間の設定）    集団への適応（活動内容の充実）

## 【教育支援センター（あすなろ）】通級支援

集団生活を通して生活の自立を図り、集団や社会への適応能力の育成に努める。指導員は児童生徒の日々の現われや成長を記録し、臨床心理士の助言を参考に指導・支援の充実を図る。通級方法については児童生徒の状態により柔軟な対応をする。

### 【活動内容】（祝日及び学校の休業日を除く。）

※9時30分から朝読書、40分からラジオ体操、50分から朝の会

	10時～12時	13時～15時
月	自主学習	掃除・栽培活動
火	自主学習	交流活動
水	自主学習	一斉授業の日
木	スポーツ	
金	自主学習	体験活動

- 「交流活動」はふれあい（コミュニケーション活動）の時間です。
- 「体験活動」は外部講師を招いて活動する時間です。
- 「一斉授業」は50分間、授業を体験します。
- 「スポーツ」はアミューズ豊田で行います。

○施設内の様子  
(1階)



(2階)



## 【教育支援センター（あすなろ2）】通級支援

1対1の関わりや小集団での活動を通して、生活の自立を図り、集団や社会への適応能力の育成に努める。指導員は児童生徒の日々の現われや成長を記録し、臨床心理士の助言を参考に指導・支援の充実を図る。通級方法については児童生徒の状態により柔軟な対応をする。

### 【活動内容】（祝日及び学校の休業日を除く。）

	9時～12時30分	13時30分～15時
月	個別活動	個別相談
火	個別活動	個別相談
水	個別活動	個別相談
木	個別活動	個別相談
金	個別活動	個別相談

- 「個別活動」は学習や小集団でのコミュニケーション活動の時間です。
- 「個別相談」は児童生徒・保護者と教育相談を行います（事前予約制）。
- 「体験活動」を定期的に設定し、スポーツや調理実習を行います。
- 「個別活動」の様子から、児童生徒・保護者と相談し、教育支援センターあすなろの活動に参加することもできます。

○施設内の様子  
(1階)



(2階)



**来室支援**  
 訪問支援から通級に向けての中間的支援。支援員が付き添い児童生徒の心の支援を図る。

**訪問支援**  
 定期的に訪問をして、通級できない児童生徒の心の支援を図る。  
 来室や学校の保健室等につなげる。

**来室支援**  
 訪問支援から通級に向けての中間的支援。支援員が付き添い児童生徒の心の支援を図る。



**保護者との連携・支援**  
 保護者の不安や悩みを解消し、保護者と連携した支援を行う。  
**【保護者面談】**  
 担当指導員との面談  
 臨床心理士との受理面談  
**【保護者会】**  
 あすなろの会  
 （親の会）

**学校・諸機関との連携**  
 児童生徒や保護者の思いを学校と共有し、児童生徒と学校との距離を縮める。  
 諸機関と情報交換をする中で、児童生徒に有効な支援を行う。

